

週刊新社会

2月21日



2017年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

貧困と格差は分断と
憎しみを招き、怪物
を生み出す。

3月議会は1日～24日 市民生活に直結する予算に注目を

野田市3月議会が今週22日に招集告示され、23日の議会運営委員会から表の日程案に沿って進められる。鈴木市長初の通年予算編成であり、その公約や市政運営の考え方がどう出るのか注目される。

たとえば2月1日の市報では、生物多様性をキーワードに野田市の魅力発信事業のアイデアを総額200万円で募集している。同15日の市報では、3月議会提案予定の予算案に、全小学校に学級事務支援員を採用することを盛り込んだと

掲載されている。教育重視の市長の姿勢が出たものといえる。

また、選挙公約トップの子どもと老人の複合施設建設がどうなるのか、それ以上にこの半年余で野田市の課題が鮮明になったことから、今後どのように市政を展開する予算案となるのか注目される。

納めた税金がどのように使われ

3月議会日程案（23日の議会運営委員会で決定）

期日	開議予定時刻	会議予定	主な会議内容
23日（木）	10時	議会運営委員会	提出議案、請願・陳情の概略説明、定例会日程の検討、その他
3月1日（水）	10時	本会議（開会）	会期の決定、議案上程、市政一般報告
8日（水）	10時	本会議	議案質疑、委員会付託
9日（木）			
10日（金）	10時	本会議	一般質問
13日（月）			
14日（火）	10時	常任委員会	議案等の審査
15日（水）	他		
16日（木）		予算審査特別委員会	平成29年度各会計予算の審査
17日（金）	10時		
21日（火）			
24日（金）	10時	本会議（閉会）	委員長報告、質疑、討論、採決

るのが、ここをきちんと見ないと主権者たり得ないからだ。

教員にもっとゆとりを 部活指導の改善必要

株式会社電通の新入社員過労自殺事件が起こって、働かせすぎの問題が焦点となっている。月80時間超の残業は過労死ラインで、それを超える政府の規制案はやっぱりかとの感がある。だいたい残業そのものは例外規定であり、それにまた例外をつくるのでは死ぬまで働けと言っているに等しい。

働きすぎ問題の典型の一つに教員の実態がある。そもそもわずかの手当が出ているからと残業手当はつかない。

その根を深くしているのが部活の顧問活動。昨年12月にスポーツ

庁が調査結果を発表したが、教育課程外であるにもかかわらず、9割近くの中学校で全員が顧問を持たされている。

しかも97年に当時の文部省が適切とする部活動時間を超えている。野田市は改善されているのか、長南議員がその実態とあり方を質問する。



戦争をしないだけでなく、本当の平和には貧困と格差をなくさなくてはと、19日日比谷野外音楽堂に約4千人が集まった。

集会には4野党の代表、本田由紀東大大学院教授などが連帯あいさつや基調報告を行った。約1時間の集会後は銀座をデモ行進した。

労働尊重都市ソウル市にまなぶ 次々と無期雇用の正規職化展開

労働組合から「ヘル朝鮮（地獄のように生きづらい社会）」と批判される韓国の労働事情。これは 97 年の韓国通貨危機時に、緊縮財政を求めた IMF の再建策で、非正規労働が爆発的に増加したことが背景にある。

これに挑戦しているのが朴元淳ソウル市長だ。2011 年 10 月にソウル市長に当選すると、選挙公約であったソウル市関係の公共部門の非正規労働者の直接雇用と無期転換を次々と行い、労働者の権利擁護、生活賃金（最賃以上に生活できる賃金保障）、労働者経営参加（理事就任）などの条例を次々と実施、今年 4 月からは 2020 年

実施に向けて、残業を認めない完全週 40 時間労働制を試行する。

その労働行政を 16 日、参議院議員会館で、韓国労働社会研究所の金鐘珍研究委員（写真）が報告し、質疑を受けた。これは 14 日（京都）、15 日（東京）と開いた専門家によるシンポジウムの市民向け研修会だった。

ソウル市は「労働尊重都市」と



して、勤労者権利保護、市役所が模範的使用者としてふるまうことを二大目標として、労働行政を展開している。最近では公契約条例にも関心を持っているという。

また、小中学校の給食無償化（全国に拡大中）やソウル市立大学の授業料半額化など、貧困対策や機会均等政策にも力を入れている。

脱原発憲法

①原発は

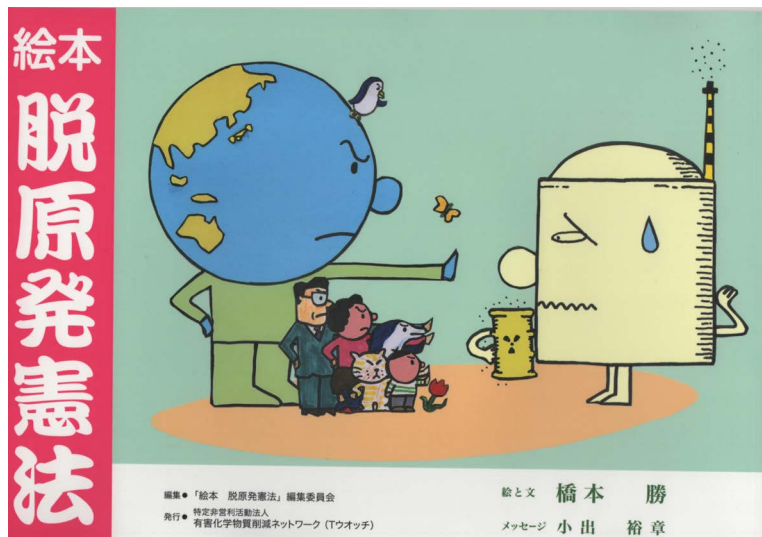
ひとたび事故となると
その被害は 空間的にも、
時間的にもはかりしれない
国策として進められた原発は

安全を、
クリーンさを、
経済性をうたいあげてきたが、
それらはみな大きな嘘であった
原発の出す核廃棄物は
未来への 大きな負担となる
被爆労働なくして

原発は運用できない
核の平和利用といいながら
原発は核兵器の潜在能力となる
人類は、原発と共存できない。

②前項の目的を達成するため

新しい原発を作らせない
事故隠しを許さない
日本のすべての原発を止める
原発の輸出をさせない
太陽、風、地熱の自然エネルギーを開発、実用化する
原発のない日本を
世界を実現する。



この脱原発憲法は本紙で風刺画を連載している橋本勝さんが作り、その 1 行ごとにイラストを添えた絵本を出版した。的確で痛快。1 冊 800 円で注文は長南迄。